

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
柿崎町百木1023
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 諏訪恵一
TEL 0258-35-4373

待望のクライミング施設が完成

予てより、国体選手の育成にはまず施設が必要であると新潟県や県体育協会に要望していたクライミング施設が、今春予算化され、また、多くの新潟県山岳協会加盟団体及び団体加盟の方々や当協会の活動をご支援いただいている関係各位からの募金で、十日町市総合体育館二階に完成した。

施設は、今後国体山岳競技が、クライミングとボルダリングの2種目になることから、両方の練習が可能な施設となっている。

8月29日には、施設の完成を祝う完工式が、滝沢信一十日町市長をはじめとする十日町市関係者、地元山岳協会関係者、橋本正巳会長など新潟県山岳協会関係者やクライミング競技者約70名が参加して催された。

完工式では、まず渡邊正之競技部長から施設設置までの経緯の報告があった。続いて、挨拶に立った橋本会長から、ここ数年十日町市から多くの選手が国体に出場し、優秀な成績を収めていることが紹介され、身近に施設が出来たとて今後の一層の活躍に対す

る期待が述べられた。来賓の滝沢市長からは、地元こんな素晴らしい施設が出来てうれしい。大いに活用していきたいと挨拶があった。

挨拶に続いて、滝沢市長、十日町市教育長（代理）、十日町山岳協会会長、橋本会長、藤井顧問が行われるテープカットが行われ、その後、試登に移り、完成したばかりのクライミングウォールに国体選手をはじめとするクライマーが早速感触を確かめた。また、滝沢市長もクライミングに挑戦し、その敢闘ぶりに参加者から大きな拍手が送られた。

なお、当日はNHKや新潟日報を始めとする報道関係者の取材もあり、多くの画面、紙面でその様子が紹介された。

完工式終了後は、クライミング委員会によるクライミング講習会及び指導者講習会が行われ、早速施設が有効に活用されていた。

会報編集委員会 諏訪恵一



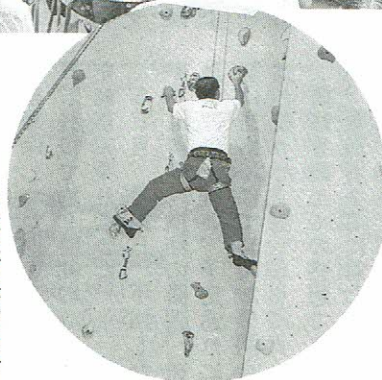
▲テープカット



▲会長挨拶



▶指導者講習会



▶滝沢市長の勇姿



◀クライミング講習会

登山計画書を出しましょう

高体連便り

高体連登山専門部

今夏、高体連から文登研夏山研修会に2名、また、集団登山指導者研修会に1名が参加あり、高等学校高等専門学校登山指導者研修会に参加した長岡農業高校の五十嵐恭子さんの報告を頂きましたので、紹介します。

文登研夏山指導者研修会に参加して

新潟県立長岡農業高等学校 五十嵐 恭子

平成16年8月1日(日)～5日(木)の5日間、富山県の文部科学省登山研修所と剣岳周辺を会場に、高等学校高等専門学校登山指導者研修会が開催された。

1日目は登山研修所で開会式、オリエンテーション、班別打ち合わせ(入山食の献立作成等)があり、その後講義・屋外人工岩場を利用したザイル操作の技術指導があった。参加者は全国から集まった総勢14名、事前の登山経歴書

下さい」とのこと、慌てて地図をとり出し班員同志で相談し出発する。緊張していたのが最初から班のペースがあがり気味で、剣御前小屋までの3時間半が非常にきつかった。

3日目、午前は雪渓で雪上訓練、午後は別山岩場で岩登りとザイル操作の訓練を行う。雪は慣れたもの、と安心していたがアイゼンを装着しての雪面から岩場への歩行は緊張した。「雪と岩場が混在し、いちいちアイゼンを脱ぐことなくザイルで固定しながら歩行する」という想定での訓練であった。ある程度の高度もある中、アイゼンが岩や草に引っかかり歩行は難航した。

4日目、2時起床4時出発、いよいよ剣岳登山。最初は剣沢の雪渓を下り、源次郎尾根から八峰の方から剣岳の山頂を目指す予定であったが、天候があまりよくなく、一般的な別山尾根ルートで頂上を目指すことになった。一般的なコースではあるが、ハーネス・ヘルメット装着で、足場が悪い所では講師先生がザイルで確保する場面など

(各自作成・提出)によってあらかじめ班編制をされていることが1日目にわかり、ついていけるのか、という心配がかなり解消された。

2日目、いよいよ入山、剣沢をめざす。かなりの高度差をケーブルとバスでいっきに上がる。途中の室堂で高度に体を慣らすため30分ほど休憩をとる。剣沢までのルートを講師先生に確認すると「事前にルートは指示してある、あとは地図で確認して出発して



予定であったが、天候があまりよくなく、一般的な別山尾根ルートで頂上を目指すことになった。一般的なコースではあるが、ハーネス・ヘルメット装着で、足場が悪い所では講師先生がザイルで確保する場面など

もあり、一般登山者には仰々しい様子であったようだ。9時10分、山頂到着。天候も回復し眺めも最高、という時に「長二郎の頭の方のバリエーションルートに挑戦しましょう」という講師先生の言葉。一般登山道ではないコースなど初挑戦。360度最高の展望の中、講師先生の「大丈夫ですから」という声を励みに、足場を確保しつつ前進するとう、往復で約2時間のコースを無事に乗り切った。

5日目、最終日。下山しながらもザイル操作の講習、搬送訓練等を行い、予定通りに登山研修所にて16時30分閉会式となった。

研修を終えての感想であるが、参加者2名に対し講師1名がつくという理想的な班編制で生活面・技術面での細やかな指導を受けることができた。また講義や他校顧問との意見交換等も内容が濃いものであり、本当に有意義な研修会であった。講師先生方に感謝しつつ、講習の内容を身に付けたものにするべく、今後日々の山行において努力していきたいと感じている。

賛助会入会のお祝いと御礼

日頃は、新潟県山岳協会の事業に、参画いただき、格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

協会活動の充実のため、多くの皆様のご加入をお願い申し上げます。

また、次の皆様から、ご入会、ご継続を頂きましたので、ご報告いたします。

内藤修（直江津山岳会）、藤

井信（長岡HC）、橋本正巳

（高田HC）、室賀輝男（長

岡HC）、藤巻道夫（糸魚川

山岳会）、土田幸雄（長岡H

C）、坂井厚（峡谷山岳会）、

小野建（さわがに山岳会）、

石田国夫（とーろっこ山の会）、

横田利八郎（高田HC）、井

出秀雄（峡谷山岳会）

（敬称略、順不同）

なお、事務処理の不手際か

らご入会、ご継続のお申込を頂きましたが先月号にお名前を掲載できない方がおられます。

した、お詫びいたします。
総務委員長 七澤恭四郎



クライミングボード設置募金の

お願いと御礼

既報の通り、クライミングボードも完工式を迎え、既に選手の練習の場となっております。募金を頂きました皆様

には心より御礼申し上げます。なお、9月度は次の方々から募金を頂戴いたしました。ありがとうございます。

新潟県山岳協会自然保護委員会、森庄一（長岡HC）、山田賢吾（長岡HC）、平田優一（柿崎山岳会）、岩崎功（とーろっこ山の会）

（敬称略、順不同）

総務委員長 七澤恭四郎

賛助会及びクライミングボード募金のお問い合わせは、

〒943-0154

上越市稲田4-12-31

Tel & Fax 025-523-7661

七澤恭四郎方

新潟県山岳協会総務委員会

まで、お願いいたします。



北部フォッサマグナ帯に在る妙高山(右)・火打山(中)・焼山(左)の頸城三山

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

③⑥ 深田百名山が四座もある人気の山城

上越地方の山は、大部分がフォッサマグナ帯に存在する新生代以降の新しい地層から成っています。

頸城山群の富士火山帯最北部に属する妙高山の山には、飯綱山・信州黒姫山・妙高山・焼山などがあります。妙高山は、上越地方を代表する名峰で、その火山活動は、30万年から数千年前まで噴火が続き、妙高山の噴火が収束すると、3000年前より焼山が活動を始め、近年も噴火を繰り返している県下唯一の活火山で、まだ頂上付近が登山禁止になっています。

海谷山塊は、フォッサマグナ帯に堆積した西頸城層群を覆う海底火山の溶岩より形成されて、独特な溪谷美が作られて、多くの岳人に親しまれてきました。

同じ地質構造の山には、高妻山乙妻山・火打山・鉾ヶ岳・雨飾山などがあります。いずれも、第三紀層を貫く玢岩・安山岩ですが、何故か百名山に3つも選ばれていて、登山者に人気があるのです。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行事業553号・IATA代理店 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市南町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

口長岡営業所

〒940-0084 長岡市南町1丁目3番5号

☎ (0258)33-7123

口新潟営業所

〒950-0916 新潟市米山3丁目2番11号

☎ (025)246-2266

第7回

新潟カップクライミングコンペ 報告

クライミング委員長 内山 豊

9月19日(日)に妙高村に今春開校した国際アウトドア専門学校のカイミングウオーブを会場に、第7回新潟カップクライミングコンペが開催されました。

参加選手は過去最高の43名でした。ジュニア小学生男女、中学生女子、シニア女子は同ルートで1本目が5・9、2本目が5・10aの設定で行なわれました。残念ながら参加者が少なかつたです。自分の登りができないようでした。もっと鍛えるよう登りこんで欲しいと思います。

大会の反省としては、会場に慣れていないせいもありましたが、段取り不足だったと思えました。スタッフおよび選手の方には指示が行き届かずスムーズな運営ができませんでした。

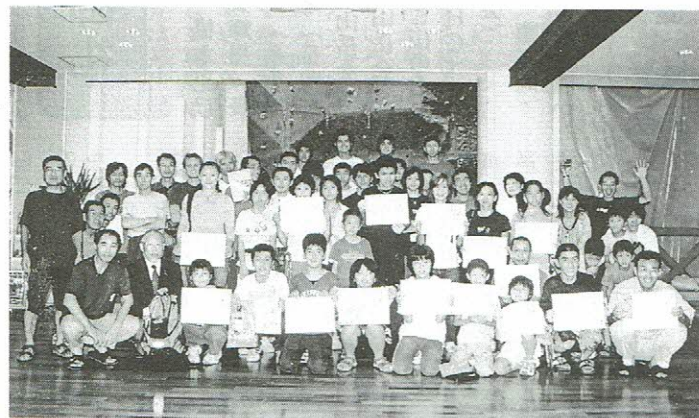
最後になりますが3連休で山にも行きたかったと思いますが、都合をつけ大会を支えてくださったスタッフのみなさまに心から感謝いたします。

【大会成績】

た。ルートが長いためか苦労しているように見えました。オブザベーションと持久力をもっと鍛えるよう登りこんで欲しいと思います。

オープン女子は、1本目が5・10a、2本目が5・10cの設定で行なわれました。残念ながら参加者が少なかつたです。自分の登りができないようでした。もっと追い込んで自分の弱点を見つけて欲しいと思います。

オープン男子は、1本目が5・11a、2本目が5・11c、決勝



表彰式後の参加者全員での記念撮影

- ◇ジュニア小学生男子
1位 山川康平、2位 清水貴太、2位 千田雄生
- ◇ジュニア小学生女子
1位 建部泉希、2位 堀口梨奈、2位 清水麻子
- ◇ジュニア中学生男子
1位 久保田聡、2位 網島智也
- ◇ジュニア中学生女子
1位 五十嵐裕子、2位 五十嵐妹子、3位 辻みらい
- ◇シニア男子
1位 入山敦、2位 古沢勝美、3位 伊藤政史
- ◇シニア女子
1位 辻めぐみ、2位 山川昌恵
- ◇オープン男子
1位 堀込悟、2位 富沢太郎、3位 天木毅宗
- ◇オープン女子
1位 秋元加奈子

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp